

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	小中浄水場施設整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	水道事業	事業計画	期間限定複数年度		
	課	水道課		小中浄水場施設整備事業		款	1	新規or継続	継続事業		
	係	水道建設係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	5221	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	水道法		事業期間	開始年度	H31	実施方法	一部委託	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			期間	終了年度	R7	事業分類	施設等整備事業	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理								
	基本事業	1	安全で安心な水道水の安定供給								

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	市の沢浄水場については、全体的に老朽化が進んでおり、耐震施設でもないことにより、大規模な更新時期を迎えていた。市の沢浄水場については水源地として使用している小中水源地に隣接している小中教習所跡地に整備したほうが用地・建設費・維持管理費の面より有利であるとの判断により、市の沢浄水場と同様の施設を小中浄水場へ移転して整備を行う。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	老朽化した市の沢浄水場を耐震性・水密性があり、必要容量を確保できる施設を整備する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		進捗率に対する配水量（進捗率×1,642m <sup>3</sup> /日）	m3	154	580	949	1,327	1,642

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(R6～R7継続：2本) ・小中浄水場電気計装設備外工事（R6はR7へ繰り越す） ・小中浄水場TM/TC盤設置外工事（R6はR7へ繰り越す） (R5からの繰り越す：2本) ・小中浄水場高圧受変電設備工事（R6完） ・小中浄水場配水ポンプ盤外設置工事（R6完） (R6単年度：1本) ・小中浄水場場内整備工事（R6完） (R7へ繰り越す：1本) ・小中浄水場場内配管工事	活動指標	単位	R4	R5	R6
		小中浄水場整備事業の進捗率	%	31.6	37.0	61.1
		事業費計	千円	265,078	62,260	295,834
		一般財源	千円	14,878	6,260	29,934
		特定財源（国・県・他）	千円	250,200	56,000	265,900
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	令和6年度は工事が繰り越となり進捗率が目標値を下回っているが、令和7年度未完成に向けて計画的に進めている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		進捗率に対する配水量（進捗率×1,642m <sup>3</sup> /日）	m3	519	608	1,003	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	費用	効果		
		効果が上がった指標数			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
		効果は変わらない指標数					
		効果が下がった指標数					
		指標全体			○		

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

材料などの物価や人件費の高騰の影響で、工事費が増加しているが、市の沢浄水場の老朽化も進んでいるので、計画通り令和7年度未完成に向けて進めていく。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
計画通り令和7年度未完成に向けて事業を進めていく。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 2025年12月1日

事業名	浄水場等運転管理業務委託事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	水道事業	事業計画	単年度繰り返し
	課	水道課		浄水場等運転管理業務委託事務		款	1	新規or継続	継続事業
	係	水道計画係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	5221	名称	根拠法令、条例等	水道法	目		義務or任意	任意的事業
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			事業期間	開始年度	平成22年度	実施方法
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	一部委託
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						施設維持管理事業
	基本事業	1	安全で安心な水道水の安定供給						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	令和4年度から5年間、施設点検、水質検査、環境整備、物品の調達などの包括的業務委託により、水道施設の運転管理を行う。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	水道施設の維持管理を滞りなく確実に実施するために、浄水場等運転管理業務委託を実施する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		不適切な管理を原因とする機器の故障	件	0	0	0	0	0

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	通年にわたり運転・点検・水質管理・環境整備・物品調達を実施するとともに、月例報告会を実施することで、水道施設に不具合が生じないよう維持管理を確実に行なった。また、軽微な修繕業務について、内容確認・指導等、実施した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		運転管理業務	月	12	12	12		
		月例報告会	回	12	12	12		
		事業費計	千円	159,192	168,982	159,808		
		一般財源	千円	159,192	168,982	159,808		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0		

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	市民に安全で安心な水道水が供給される。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		不適切な管理を原因とする機器の故障	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

### (3) 活動による効果

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		不適切な管理を原因とする機器の故障	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果は下がった指標数 0指標	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		効果は変わらない指標数 1指標						
		効果が下がった指標数 0指標						
		指標全体 効果は変わらない						

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本事業を実施することで、水道施設の管理を適切に行なうことができ、市民に安全で安心な水道水を供給することができる。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
従来どおり実施することで、安全な水道水が供給でき、安心な市民生活に寄与する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	紫外線照射装置等整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	水道事業	事業計画	期間限定複数年度	
	課	水道課		紫外線照射装置等整備事業		款	1	新規or継続	継続事業	
	係	水道建設係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	5221	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	水道法		事業期間	開始年度	H20	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	R10	事業分類	施設等整備事業	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理							
	基本事業	1	安全で安心な水道水の安定供給							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	佐野市の水道は地下水を水源としているが、一部の水源において、クリプトスボリジウム原虫が含まれる可能性を示す指標菌（大腸菌や嫌気性芽胞菌）が検出されており、より安全な給水を確保していくため、浄水場に紫外線照射装置や膜ろ過装置を設置する。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	指標菌が検出された原水を使用する浄水場に、紫外線照射装置や膜ろ過装置を設置することによりクリプトスボリジウム原虫を不活性させたり、除去を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		紫外線照射装置等を行う施設の計画認可水量	m3	37,850	38,951	39,041	39,186	39,841
		UV照射等水量／計画UV照射等水量（認可値）	%	82.2	84.6	84.8	85.1	86.5

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	野上北浄水場膜ろ過装置設置工事	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		紫外線照射装置等設置数累計	箇所	5	6	7		
		事業費計	千円	149,149	59,158	76,516		
		一般財源	千円	6,549	3,490	8,214		
		特定財源（国・県・他）	千円	142,600	55,668	68,302		
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0		

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	計画どおり膜ろ過装置を設置し、供用開始が出来た。	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		紫外線照射装置等を行う施設の計画認可水量	m3	38,951	39,041	39,186	値が大きいほど良い	効果が上がった
		UV照射等水量／計画UV照射等水量（認可値）	%	84.6	84.8	85.1	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		紫外線照射装置等を行う施設の計画認可水量	m3	38,951	39,041	39,186	値が大きいほど良い	効果が上がった
		UV照射等水量／計画UV照射等水量（認可値）	%	84.6	84.8	85.1	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		効果が上がった指標数	2指標				効果が上がった	
		効果は変わらない指標数	0指標				効果は変わらない	
		効果が下がった指標数	0指標				効果が下がった	
		指標全体	効果が上がった					

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

残りの浄水場においても、順次、計画的に紫外線照射装置や膜ろ過装置を設置していく。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	順次、計画的に事業を進めていくため、特に検討事項はない。
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討	
□ 事業費の見直し検討	
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討	
☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	老朽管更新事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	水道事業	事業計画	単年度繰り返し		
	課	水道課		老朽管更新事業		款	1	新規or継続	継続事業		
	係	水道建設係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	5221	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	水道法		事業期間	開始年度	H19	実施方法	一部委託	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設等整備事業		
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理								
	基本事業	1	安全で安心な水道水の安定供給								

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	市内に埋設してある老朽化した導水管・送水管・配水管を耐震性のある管に布設替えをする。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	布設後40年を経過した老朽管（φ50mm以上）を耐震性があり、漏水の恐れのない管に布設替えを行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		老朽管延長 – 老朽管更新延長	km	146.0	164.9	197.7	228.3	247.9

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・実施設計業務委託 1本 L=2,500.0m ・老朽管更新工事 11本 L=2,167.1m 菊川区画整理地区 2本 L= 518.1m 上川原水源導水管 2本 L= 353.3m 県道桐生岩舟線 1本 L= 256.7m その他（久保町外） 6本 L= 1,039.0m	活動指標	単位	R4	R5	R6
		年度施工延長	km	2.1	2.1	2.2
		事業費計	千円	160,875	257,697	264,902
		一般財源	千円	43,325	47,897	37,202
		特定財源（国・県・他）	千円	117,550	209,800	227,700
		（うち受益者負担）	千円	1,750	1,400	1,400

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	指標的には目標値を若干下回る結果となってはいるが、更新延長以上に布設後40年を経過した老朽管の延長が増加してきている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい
		老朽管延長 – 老朽管更新延長	km	161.6	193.6	227.0	値が小さいほど良い 効果が下がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標			効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			○
			費用の増減無し		
			費用が増加した		

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

今後も老朽化していく水道管は年々増加していくので、計画的に管の更新を進めていく。また、近年の物価や人件費の高騰により工事費も上がっているため、各路線ごとに布設する管種の選定や工法の検討を行い、効率的かつ工事費の削減について併せて取り組んでいく。

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
水道管の老朽化は年々増え続けていってしまうので、事業費の増加が必要となる。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	電気・機械設備更新事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	水道事業	事業計画	単年度繰り返し		
	課	水道課		電気・機械設備更新事業		款	1	新規or継続	継続事業		
	係	水道建設係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	5221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	水道法		事業期間	開始年度	H17	実施方法	一部委託	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業		
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理								
	基本事業	1	安全で安心な水道水の安定供給								

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	老朽化した電気、機械、計装設備等を各々の耐用年数を参考にして作成した更新計画を基に、年度ごとに更新を実施する。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	耐用年数を経過した電気、機械、計装設備を更新することにより、機器の老朽化による故障や事故を未然に防ぐ。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		更新した設備台数/更新時期にある設備台数	%	100	100	100	100	100
		更新時期にある設備台数/設備台数総数	%	5	7	7	5	4

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(ほぼ計画どおりに実施したが、施設全体を更新する水道施設内にある機器において、施設全体の更新計画と調整し、来年度以降に更新を延伸した機器もあった。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		本事業で更新した設備台数	台	44	49	35		
		事業費計	千円	164,379	202,123	242,107		
		一般財源	千円	164,379	202,123	242,107		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0		

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	(ほぼ計画どおり設備の更新を行い、安全・安心・安定した水道水の供給が出来ている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		更新した設備台数/更新時期にある設備台数	%	73	89	85	値が大きいほど良い	効果が下がった
		更新時期にある設備台数/設備台数総数	%	7	7	5	値が小さいほど良い	効果が上がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数		R4	R5	R6
	効果は変わらない指標数		73	89	85
	効果が下がった指標数		7	7	5
指標全体	効果は変わらない				

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

安全・安心・安定した水道水の供給を行うため、今後も更新計画に基づき、電気・機械設備の更新を進めていく。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
更新計画のとおり進めていくため、特に検討事項はない。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	水質検査事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	水道事業	事業計画	単年度繰り返し	
	課	水道課		水質検査事業		款	1	新規or継続	継続事業	
	係	水道維持係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	5221	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	水道法		事業期間	開始年度	H17	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	検査・調査事務	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理							
	基本事業	1	安全で安心な水道水の安定供給							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	・水道法に基づき水質検査計画を策定し、同法第20条に基づく検査を指定検査機関、および個人宅給水栓からの検査を委託し隨時実施する。
	・採水場所：浄水は20箇所（原水は51箇所）、個人宅給水栓は25箇所
	・検査項目：水質基準項目は51項目と9項目（原水は39項目）、水質管理目標設定項目は4項目、放射性物質検査は2項目、個人宅給水栓は3項目

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	供給する水道水について、各水質基準に適合しているかを判定し、安全な飲料水であるように適切に管理する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		水質基準に適合した割合(浄水)	%	100	100	100	100	100

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・採水場所(浄水)：水質基準項目等は佐野地区5箇所、田沼地区10箇所、葛生地区5箇所、個人宅給水栓は佐野地区7箇所、田沼地区12箇所、葛生地区6箇所 ・採水頻度(浄水)：水質基準項目(51項目)は年4回、水質基準項目(9項目)は年8回、水質管理目標設定項目は年1回、放射性物質検査は年4回、個人宅給水栓は毎日	活動指標	単位	R4	R5	R6
		水質検査を実施した検体数(浄水)	検体	10,221	9,490	9,490
		事業費計	千円	5,472	5,036	6,178
		一般財源	千円	5,472	5,036	6,178
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	各水質基準に適合しているかを判定し、安全な飲料水であるように適切に管理できた。引き続き、水質検査状況を注視し、安全安心な水道水の供給に努める。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		水質基準に適合した割合(浄水)	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### (3) 活動による効果

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		水質基準に適合した割合(浄水)	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果が増加した指標数	※ 10万円以上の増減により判断			効果	費用が下がった	効果は変わらない	効果が下がった
		効果が上がった指標数	効果は変わらない指標数	効果が下がった指標数				
効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数	0指標			費用が下がった			
	効果は変わらない指標数	1指標			費用の増減無し			
	効果が下がった指標数	0指標			費用が増加した			○
	指標全体	効果は変わらない						

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・平成17年度市町合併以来、継続して水道水の安定供給を確保するため、浄水および原水の水質検査を行っている。・平成23年3月11日の東日本大震災により、水道水中の放射性物質検査が必要となった。・平成25年度からは、水道施設の運転管理業務委託により、原水の水質検査は受託者側で実施することになった。(令和3年度から原水で年1回のPFOS・PFOA検査を開始)・関係者（市民、議会、事務事業対象者）からの意見・要望は特にない。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
現状維持であるため、特に検討事項はない。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	ダム管理費支援事業		実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	財政課		ダム管理費支援事業		款	4	新規or継続	継続事業	
	係	財政係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	5222	名称	根拠法令、条例等		目	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	補助に係る覚書		事業期間	開始年度	S53	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	直営	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						支援事業	
	基本事業	2	上下水道事業の安定した経営							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	昭和53年3月2日に締結した「上水道第4次拡張事業費の補助に関する覚書」（その後、一部変更あり）に基づき、第4次拡張事業費の一部を佐野市水道事業に対する第4次拡張事業費補助金として草木ダム管理費の一部を支出している。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	覚書に基づく額を補助し、佐野市水道事業の経営を支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		補助額/覚書に基づく額	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	佐野市水道事業に対して、覚書に基づく額を補助した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		覚書に基づく額	千円	3,916	3,893	3,660		
		事業費計	千円	3,916	3,893	3,660		
		一般財源	千円	3,916	3,893	3,660		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市水道事業に対して、覚書に基づく額を全額補助し、経営を支援した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		補助額/覚書に基づく額	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった		※ 10万円以上の増減により判断	効果		↓選択して下さい
	効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	
	効果は変わらない指標数	1指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果は変わらない				

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

特になし
------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

覚書に基づいた額を佐野市水道事業に補助し、経営を引き続き支援する。

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 2025年12月1日

事業名	水道事業・下水道事業会計事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	会計	水道・下水道	事業計画	単年度繰り返し		
	課	企業経営課				新規or継続	継続事業			
	係	会計係				市単独or国県補助	市単独事業			
政策体系	体系コード	5222	名称	根拠法令、条例等 地方公営企業法第13～43条、佐野市水道事業及び下水道事業会計規程第97～100条、地方公営企業法施行令及び同施行規則	予算科目	項目	義務or任意	義務的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S43	実施方法		
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	なし	事業分類		
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理					その他内部事務事業		
	基本事業	2	上下水道事業の安定した経営							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	水道事業及び下水道事業会計の各種伝票の作成、審査及び支払を的確に行い、例月出納検査を受検し結果を集計し、決算をまとめ、監査委員による監査を受けて議会に提出し認定を受け、決算を公表する。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	水道事業及び下水道事業会計の経営状況を公表し、事業への関心、理解を高める。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		広報さの掲載回数	回	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	公営企業会計各種伝票作成、審査及び支払 令和5年度決算書作成 令和6年度上下水道事業例月出納検査資料作成	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		審査した伝票の枚数	枚	21,029	23,152	20,552		
		事業費計	千円	24,176	22,153	21,748		
		一般財源	千円	24,176	22,153	21,748		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	収入、支出及び決算などの会計事務を正確に行い、決算の取りまとめ直後及び予算執行状況の説明時の2回公表し、上下水道局ホームページにおいても決算書を公表することで、水道事業及び下水道事業への関心、理解を高めている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		広報さの掲載回数	回	2	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	収入、支出及び決算などの会計事務を正確に行い、決算の取りまとめ直後及び予算執行状況の説明時の2回公表し、上下水道局ホームページにおいても決算書を公表することで、水道事業及び下水道事業への関心、理解を高めている。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		広報さの掲載回数	回	2	2	2	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果			効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった
			効果が上がった指標数	○		
			効果は変わらない指標数			
			効果が下がった指標数			
			指標全体			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

公営企業会計事務ではまず正確性を重視している。一部業務委託が行われているため、委託事業者への指導と担当者のスキルアップを図る必要がある。
--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 2025年12月1日

事業名	日本水道協会参画事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	会計	水道	事業計画	単年度繰り返し		
	課	企業経営課				新規or継続	継続事業			
	係	経営企画係				市単独or国県補助	市単独事業			
政策体系	体系コード	5222	名称	根拠法令、条例等 佐野市水道事業会計規程 地方公営企業法	予算科目	目	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S43	実施方法		
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	—	事業分類		
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理					参画事業		
	基本事業	2	上下水道事業の安定した経営							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	新技術、法改正情報等の研修や会議に、必要に応じ参加する他、防災訓練等に参加する。年会費（有収水量を基礎に会費算出）を納入する。 ※「(公社)日本水道協会」とは、水道事業の経営や技術及び水質問題について調査研究を行う他、水道用品の検査及び品質認証を行う。また、国に対して水道に関する請願、建議を行い、全国水道事業者の諸問題解決のため活動しており、昭和7年5月に設立された公益社団法人である。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	水道の知識、技術の向上及び情報収集を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		知識技術を向上できた職員の割合	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	6月 水道技術者研修 11月 栃木県支部県南ブロック研修会（草木ダム） 11月 栃木県支部合同防災訓練への参加 2月 情報発信スキルアップセミナー	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		研修、会議等への参加回数	回	3	4	4		
		研修、会議等への参加人数	人	16	5	10		
		事業費計	千円	318	397	361		
		一般財源	千円	318	397	361		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	水道の知識、技術の向上及び情報収集を図る目的で、研修の実施や総会への出席を行った。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		知識技術を向上できた職員の割合	%	100.0	100.0	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	↓選択して下さい
	効果が上がった指標数			0指標			
	効果は変わらない指標数			1指標			
	効果が下がった指標数			0指標			
	指標全体			効果は変わらない			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和6年度は、対面での栃木県支部県南ブロック研修会を7年ぶりに開催し、近隣の事業体と交流を深めることができた。このような、(公社)日本水道協会を通じたつながりや、定期的な研修・会議は有事の際ににおける効果が期待できることから、今後も、水道事業を安定的に運営するため、水道の知識、技術の向上及び情報収集を図っていく必要がある。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討	
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討	
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	水道事業会計出資金	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	総合政策部	予算中事業名 水道事業会計出資金	会計 款 項 目	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	財政課			4	新規or継続	継続事業
	係	財政係			1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	5222	名称 根拠法令、条例等 地方公営企業法	事業期間 開始年度 終了年度	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	5			H30	実施方法	直営
	政策	2			R10	事業分類	支援事業
	施策	2					
	基本事業	2					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	クリプトスピリジウム等の汚染に対処するための高度浄水施設（膜ろ過施設又は紫外線処理施設）を整備する佐野市水道事業に対し、繰出し基準に基づき、その費用の一部を出資金として支出する。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	繰出し基準に基づいた額を出資金として支出し、佐野市水道事業の経営を支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		出資金額/繰出し基準額（10万円未満切捨て）	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	佐野市水道事業に対して、繰出し基準に基づいた額を出資金として支出した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		紫外線照射装置等設置台所	台所	1	1	1		
		繰出し基準額（10万円未満切捨て）	千円	54,700	19,400	23,100		
		事業費計	千円	54,700	19,400	23,100		
		一般財源	千円					
		特定財源（国・県・他）	千円	54,700	19,400	23,100		
		（うち受益者負担）	千円					

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	佐野市水道事業に対して、繰出し基準に基づいた額を全額出資金として支出し、経営を支援した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		出資金額/繰出し基準額（10万円未満切捨て）	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6	効果	
	出資金額/繰出し基準額（10万円未満切捨て）	%	100	100	100	効果が上がった	効果は変わらない

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

繰出し基準額に基づく出資金であれば、後年度の元利償還に対して普通交付税措置があるため、費用対効果を考えると繰出し基準額までの支出とする。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	繰出し基準額に基づいた額を出資金として佐野市水道事業に支出し、経営を引き続き支援する。

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 2025年12月1日

事業名	水道料金等賦課徴収事務	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	水道・下水道	事業計画	単年度繰り返し	
	課	企業経営課		水道料金等賦課徴収事務		款	—	新規or継続	継続事業	
	係	経営企画係				項	—	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	5222	名称	根拠法令、条例等		目	—	義務or任意	義務的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	佐野市水道事業給水条例		事業期間	開始年度	S43	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	—	事業分類	賦課・収納事務	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理							
	基本事業	2	上下水道事業の安定した経営	佐野市下水道条例						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	水道メーターの検針等の結果に基づき、水道料金、下水道使用料を算定し、調定を確定させる。 料金等の納入方法は、口座振替と納付書とし、期日までに納付がなかった対象者（滞納者）には、督促状、催告書、給水停止予告通知の発送、訪問による督促、給水停止の執行をし、支払い希望者への納付書の再発行、口座振替依頼書の送付、依頼による開栓、閉栓を実施する。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	検針等に基づき、正確な使用量と水道料金、下水道使用料を確定させ、遅滞なく徴収する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		水道料金収納率	%	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8
		下水道使用料収納率	%	97.8	97.8	97.8	97.8	97.8

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	通年 受付業務	活動指標	単位	R4	R5	R6		
	通年 開始及び中止精算業務（R6年度14,608件）	水道メーター検針件数	件	316,300	324,122	324,708		
	通年 検針業務（R6年度324,708件）	水道料金調定件数	件	326,968	327,988	328,207		
	通年 収納業務（R6年度317,457件）	下水道使用料調定件数	件	207,901	211,009	212,385		
	通年 滞納整理及び給水停止業務（R6年度1,178件）	事業費計	千円	107,870	113,015	114,044		
	5~9月検定満期メーター交換管理業務（R6年度8,037件）	一般財源	千円	107,870	113,015	114,044		
	通年 会計業務	特定財源（国・県・他）	千円					
	通年 下水道等使用料賦課人數管理業務 (R6年度938件)	(うち受益者負担)	千円					
	通年 給水装置工事管理業務							
	通年 電子計算処理業務							

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	検針等に基づき、正確な使用量と水道料金、下水道使用料を確定させ、遅滞なく徴収した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		水道料金収納率	%	98.0	97.7	97.6	値が大きいほど良い	効果が下がった
		下水道使用料収納率	%	98.0	96.0	97.6	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	費用	効果			↓選択して下さい	
	効果が上がった指標数			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
	効果は変わらない指標数							
	効果が下がった指標数							
	指標全体			○				

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和5年6月からの水道統合システムの保守及びリース契約の更新により委託料が増額となったものの、増額の主な理由が機材の物価高騰によるものであり、引き続き安定した徴収事が実施できる見込みである。また、令和6年度は、近隣の4市で水道料金等賦課徴収事務委託の共同発注に向けて計7回の会議や視察を実施し、水道事業の安定的な経営に向け、検討を進めることができた。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討	
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	旧簡易水道支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	環境政策課		旧簡易水道支援事業		4	新規or継続	継続事業	
	係	環境係				1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	5222	名称	根拠法令、条例等	事業期間	1	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	地方公営企業法 佐野市補助金等交付規則		H17	実施方法	直営	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理					支援事業	
	基本事業	2	上下水道事業の安定した経営						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	簡易水道事業の資本費負担の軽減を図るため、建設改良費の一部について、一般会計から企業会計へ繰り出す（簡易水道事業の建設改良費、企業債元利償還金）。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	・簡易水道事業の資本的負担の軽減 ・安全で安定した水の供給 ・公営企業の経営の健全化、経営基礎強化	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		旧簡易水道施設数	件	9	9	9	9	9
		補助金額	千円	79,020	78,984	78,947	78,910	78,900
		総収支比率（総利益/総費用）	%	113.5	113.5	113.5	113.5	113.5

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	簡易水道事業の資本的負担の軽減を図るため、簡易水道施設の整備、水の供給事業に補助金を交付して支援を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		補助金額	千円	78,983	78,946	78,910		
		事業費計	千円	78,983	78,946	78,910		
		一般財源	千円	78,983	78,946	78,910		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	水道事業の健全な経営を支援し、有収率及び総収支比率は前年度よりも改善した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		旧簡易水道施設数	件	9	9	9	値が小さいほど良い	効果は変わらない
		補助金額	千円	78,983	78,946	78,910	値が小さいほど良い	効果が上がった
		総収支比率（総利益/総費用）	%	104.7	98.6	100.3	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		旧簡易水道施設数	件	9	9	9	値が小さいほど良い	効果は変わらない
		補助金額	千円	78,983	78,946	78,910	値が小さいほど良い	効果が上がった
		総収支比率（総利益/総費用）	%	104.7	98.6	100.3	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
		効果が上がった指標数	2指標	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
		効果は変わらない指標数	1指標					
		効果が下がった指標数	0指標					
		指標全体	効果が上がった					

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

総収支比率を注視する必要がある。
------------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討	
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討	
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	漏水防止対策事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	会計 款 項 目	水道事業	事業計画	単年度繰り返し	
	課	水道課		漏水防止対策事業		1 新規or継続	継続事業		
	係	水道維持係				1 市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	5222	名称	根拠法令、条例等		2 義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	水道法		開始年度	H18 実施方法	一部委託	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	- 事業分類	検査・調査事務	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						
	基本事業	2	上下水道事業の安定した経営						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	・実施区域を選定し、計画的に市内全域の漏水調査を行う。 ・実施方法は、専門業者に業務委託を発注し調査を行い、調査結果報告書を提出させる。 ・漏水発見後は、速やかに指定給水装置工事事業者に修繕を依頼し、給水装置が復旧することで、安全安心な水道水の安定した供給をできるようにする。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	漏水を早期に発見し修繕する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		水質基準に適合した割合	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	漏水調査業務委託の実施（および漏水発見箇所の修繕） 漏水調査を実施した管延長:425km 漏水調査を実施した給水戸数:60,420戸 漏水発見件数：267件	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		漏水調査を実施した管延長	km	425	660	425	
		漏水調査を実施した給水戸数	戸	42,800	60,420	60,420	
		漏水発見件数	件	248	345	267	
		事業費計	千円	32,670	45,221	39,600	
		一般財源	千円	32,670	45,221	39,600	
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0	
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0	

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	戸別音聴調査は佐野・田沼・葛生地区、路面音聴調査は田沼地区と葛生地区は隔年度の調査としている。令和6年度の路面音聴調査は佐野・葛生地区を行った。漏水を発見したい修繕を行うことができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい
		水質基準に適合した割合	%	100	100	100	値が大きいほど良い 効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	1指標					
	効果が下がった指標数	0指標					
	指標全体	効果は変わらない					

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・平成17年2月の市町合併を契機に、継続して水道事業の安定した経営につなげていくため、給配水管の漏水調査を行い修繕している。・漏水箇所の早期発見・修繕のため漏水調査を行う。・一方、老朽管更新の計画的な実施により漏水防止を図る。・新技術についても積極的に検討し、今後も事業を継続して有効率の向上などの課題に取り組む。・関係者（市民、議会、事務事業対象者）からの意見・要望は特にない。
--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
現状維持であるため、特に検討事項はない。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	公共下水道汚水整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当あり	スマートシティ 該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局	予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
	課	下水道課	公共下水道汚水整備事業		款	新規or継続	継続事業	
政策体系	係	下水道建設係	根拠法令、条例等	下水道法 都市計画法	項目	市単独or国・県補助	国・県補助事業	
	体系コード	5223	名称		義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり		事業期間	開始年度	S46	実施方法
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり		終了年度		事業分類	一部委託
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理					施設等整備事業
	基本事業	3	生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化の向上					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	本事業は、生活排水処理構造の中で公共下水道により整備を行うことが効率的かつ適正な手法として位置付けられた区域の管網を整備することを目的としています。実施にあたっては関係法令による事業認可等を取得し、計画的に管網整備を実施します。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公共下水道区域内の汚水整備を行い公共用水域の水質の保全を図る。	(3) 目標値						
		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	公共下水道等処理人口普及率	%		73.3	74.1	75.0	75.8	76.6

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・令和5年度からの縦越工事（完成）L=910.7m ・令和6年度工事（完成）L=1,981.7m ・仮復旧箇所の舗装済復旧工事A=12,797m <sup>2</sup> ・令和6年度工事（令和7年度へ縦越）L=2,732.8m (令和7年度への縦越額308,824千円)	活動指標	単位	R4	R5	R6
		整備延長	m	3,875.0	5,056.0	2,892.4
		供用区域内人口	人	80,969	80,574	80,209
		事業費計	千円	600,769	676,360	586,513
		一般財源	千円	43,944	39,675	33,515
		特定財源（国・県・他）	千円	556,825	636,685	552,998
		（うち受益者負担）	千円			

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	・公共下水道等処理人口普及率は71.3%となり、前年度より0.3ポイント上昇した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		公共下水道等処理人口普及率	%	70.6	71.0	71.3	値が大きいほど良い 効果が上がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	費用は下がった			効果		
		効果が上がった指標数	1指標	費用は下がった	効果が上がった	効果が変わらない	効果が下がった
		効果は変わらない指標数	0指標	費用の増減無し	○		
		効果が下がった指標数	0指標	費用が増加した			
		指標全体	効果が上がった				

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・建設資材の高騰や人件費の上昇等により工事価格が上昇傾向であり、整備延長が伸び悩んでいる。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	<table border="1"> <tr> <td>取組説明</td></tr> <tr> <td>予算を増額することで成果を向上させることはできるが、財政状況や社会情勢、現場状況等を踏まえた予算規模とすることも必要である。</td></tr> </table>	取組説明	予算を増額することで成果を向上させることはできるが、財政状況や社会情勢、現場状況等を踏まえた予算規模とすることも必要である。
取組説明			
予算を増額することで成果を向上させることはできるが、財政状況や社会情勢、現場状況等を踏まえた予算規模とすることも必要である。			

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	下水道水洗化促進事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度のみ	
	課	下水道課		下水道水洗化促進事業		款	新規or継続		継続事業	
	係	下水道計画係				項	市単独or国県補助		市単独事業	
政策体系	体系コード	5223	名称	根拠法令、条例等		目	義務or任意		任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程		事業期間	開始年度	S52	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	事業分類		直営	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理			事業分類		啓発事業		
	基本事業	3	生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化の向上							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	供用開始区域内の未接続世帯・事業所に対し、広報活動や戸別訪問等により、公共下水道への接続を促進する。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	供用開始区域内において、すべての世帯・事業所が公共下水道に接続している。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		公共下水道による水洗化率	%	95.8	96.1	96.4	96.7	97.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・広報などの、市HPに水洗化促進を図る記事を掲載 ・未水洗化世帯等に対する戸別訪問及びダイレクトメール発送 ・下水道事業説明会での水洗化の説明 ・水処理センター施設公開等イベントでの水洗化PR	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		戸別訪問（ポスティング）	件	804	547	196		
		説明会回数	回	5	5	5		
		イベント参加者数	人	0	406	273		
		事業費計	千円	3,709	3,262	3,958		
		一般財源	千円	1,854	1,631	1,979		
		特定財源（国・県・他）	千円	1,855	1,631	1,979		
		（うち受益者負担）	千円					

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	水処理センター施設公開を開催し、来場者に水洗化PRを行うことができた。戸別訪問、ダイレクトメール送付は年度後半に担当職員が不在のため、件数は予定より減少。費用の増加は人件費の増による。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		公共下水道による水洗化率	%	93.2	93.2	93.3	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			費用	効果	
		効果が上がった指標数	1指標				効果が上がった	効果は変わらない
		効果は変わらない指標数	0指標					
		効果が下がった指標数	0指標					
		指標全体	効果が上がった				○	

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R6に整備を行った水洗化台帳を基に、戸別訪問及びDM送付を継続する。
------------------------------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討	
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討	
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	受益者負担金賦課徴収事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度のみ	
	課	下水道課		受益者負担金賦課徴収事業		款		新規or継続	継続事業	
	係	下水道計画係				項		市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	5223	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	都市計画法、地方自治法、佐野市公共下水道受益者負担に関する条例・同規程		事業期間	開始年度	S49	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度			直営	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						事業分類	
	基本事業	3	生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化の向上						賦課・収納事務	

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	下水道事業の建設費用の一部に充てるため、排水区域内の土地所有者に対し受益者負担金を賦課し、徴収する。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公共下水道区域での土地所有者に、下水道整備の意義と受益者負担金の趣旨を理解してもらい、負担金を収納する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		現年賦課分徴収率	%	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・受益者申告会の開催 4月25日（多田町、田沼町）、26日（出流原町）	活動指標	単位	R4	R5	R6
	・決定通知書、納付書の発送、督促、滞納整理	説明会の開催回数	回	3	2	3
	・徴収猶予の更新・解除	受益者負担金収納額	千円	105,066	98,996	97,171
	・受益者負担金調査委託					
	令和7年度賦課受益者負担金説明会の開催 2月26日（中町）、27日（新吉水町）、28日（出流原町）	事業費計	千円	20,138	20,047	19,245
		一般財源	千円	20,138	20,047	19,245
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	受益者申告会及び負担金説明会の開催により、現年度新規賦課分の受益者負担金について受益者の理解を図ったが、現年賦課分が1件当たりの所有面積が多い区域であったため、収納率は下がった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質 R5とR6の比較
		現年賦課分徴収率	%	96.8	96.2	95.8	値が大きいほど良い 効果が下がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	1指標			効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			

費用	費用は下がった	費用は変わらない	費用が下がった
費用は下がった			○
費用の増減無し			
費用が増加した			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

今後の整備区域が人口減少区域であり、年度ごとの整備面積により賦課面積が決定されるため、今後は賦課金額・徴収金額とも減少すると考えられる。

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	日本下水道協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度のみ	
	課	下水道課		日本下水道協会参画事業		款	新規or継続		継続事業	
	係	下水道計画係				項	市単独or国県補助		市単独事業	
政策体系	体系コード	5223	名称	根拠法令、条例等 日本下水道協会定款		目	義務or任意		任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			事業期間	開始年度	S50	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり				終了年度	-	事業分類	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						参画事業	
	基本事業	3	生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化の向上							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	日本下水道協会へ正会員として参画することにより、本市の下水道事業の推進に有益な情報の収集や各種活動を実施する。 (日本下水道協会：下水道に関する調査研究を行うとともに、下水道の普及による河川、湖沼、海など公共用水域の清らかな水環境の創造を目的として活動している団体。下水道事業を実施または計画している地方公共団体が正会員として構成。正会員数：1,506団体)
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	日本下水道協会に参画することにより下水道事業の推進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		参考となる情報/最新情報・研修会	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	【市の活動】 正会員として負担金を支出し、下水道賠償責任保険へ加入した。  【日本下水道協会の活動】 下水道事業の調査研究、下水道関係団体への支援、広報活動、下水道協会誌の発行、研修事業、下水道展、下水道賠償責任保険の取り扱い等	活動指標	単位	R4	R5	R6
		会議の開催	回	2	2	2
		下水道展の開催	回	1	1	1
		事業費計	千円	394	370	366
		一般財源	千円	394	370	366
		特定財源（国・県・他）	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	日本下水道協会の調査研究情報の提供により、下水道事業推進の参考とした。下水道賠償責任保険へは継続して加入している。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい
		参考となる情報/最新情報・研修会	%	100	100	100	値が大きいほど良い 効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	0指標 1指標 0指標 効果は変わらない	効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本事業により直接的な効果が期待できるわけではないが、下水道事業を推進する上で様々な有益な情報を得ことができることから、今後も継続して実施する。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県下水道協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度のみ
	課	下水道課		栃木県下水道協会参画事業		款	新規or継続	継続事業	
	係	下水道計画係				項	市単独or国補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	5223	名称	根拠法令、条例等	栃木県下水道協会規則	目	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			事業期間	開始年度	S50	実施方法
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	直営
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						参画事業
	基本事業	3	生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化の向上						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	栃木県下水道協会に会員として参画することにより、本市の下水道事業の推進に有益な情報の収集や県内市町との意見交換等を実施する。 (栃木県下水道協会：栃木県において下水道に関する事業を推進するために、調査研究その他必要な事業を行い、かつ会員相互の啓発親睦を図ることを目的とする団体。当初は日本下水道協会栃木支部として設立。平成23年度に名称変更。会員数：27団体)
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	栃木県下水道協会に参画することにより下水道事業の推進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		協会が主催する会議等への参加率	%	100	100	100	100	100

### (3) 目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	栃木県下水道協会に参画することにより下水道事業の推進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		協会が主催する会議等への参加率	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	【市の活動】 会員として負担金を支出し、総会・研修会等へ参加した。  【栃木県下水道協会の活動】 総会・会議・研修会の開催、下水道に関する情報収集と会員への 情報提供、国への提言活動	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議の開催	回	2	2	2		
		研修会の開催	回	2	2	2		
		PR用品配布	個	605	600	600		
		事業費計	千円	30	30	30		
		一般財源	千円	30	30	30		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	栃木県下水道協会が主催する会議や研修会等への参加により、 下水道に関する情報収集を行い、本市の下水道事業推進の参考 とした。	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		協会が主催する会議等への参加率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

費用 (R6とR5の 指標値増減)	費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		協会が主催する会議等への参加率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果説明 (定量及び 定性)	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し		※ 10万円以上の増減により判断	費用	効果		
		効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
		効果は変わらない指標数	1指標					
		効果が下がった指標数	0指標					
		指標全体	効果は変わらない					

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

本事業により直接的な効果が期待できるわけではないが、下水道事業を推進する上で様々な有益な情報を得ことができることから、今後も継続して実施する。
(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	水処理センター施設公開事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度のみ	
	課	下水道課		受益者負担金賦課徴収事業		款	新規or継続	継続事業		
	係	下水道計画係				項	市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	5223	名称	根拠法令、条例等		目	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	都市計画法、地方自治法、佐野市公共下水道受益者負担に関する条例・同規程		事業期間	開始年度	H27	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度			直営	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						事業分類	
	基本事業	3	生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化の向上						イベント等開催事業	

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	水処理センター施設公開を開催することにより、下水道事業に対する理解・利用促進を図る。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	水処理センター施設公開を通して下水道への理解を深める。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		来場者数	人	0	0	250	250	250
		公共下水道による水洗化率	%	95.8	96.1	96.4	96.7	97.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	令和6年10月5日(土) 9:30~12:00 内容：水処理センター施設探検、水質実験体験、上水道ブース、下水道クイズ、排水管洗浄体験、メダカすくい。マンホールステッカー販売等 来場者：大人138人、子ども135人	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		運営会議の開催	回	1	1	1		
		来場者数	人	0	406	273		
		事業費計	千円	0	28	35		
		一般財源	千円	0	28	35		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	雨天のため前年度より来場者は減少したが、下水道事業に対する理解を深めてもらうことができた。周知方法を区域内全戸配布から後方への掲載に切り替えることにより削減した経費で、マンホールステッカーを作成、販売し、収入を得ることもできた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		来場者数	人	0	406	273	値が大きいほど良い	効果が下がった
		公共下水道による水洗化率	%	93.2	93.2	93.3	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		来場者数	人	0	406	273	値が大きいほど良い	効果が下がった
		公共下水道による水洗化率	%	93.2	93.2	93.3	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		効果が上がった						
		効果は変わらない						
		効果が下がった						
		費用は下がった						

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

コロナ禍により4年ぶりの開催であった前年度に続き、来場者はコロナ禍前（250名程度）より増加した。今後に向けてさらに周知方法、イベント内容等の見直しを行い、更なる来場者の増加を図り、下水道事業への理解促進に努めていきたい。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
周知方法等の見直しを行い、来場者の増加を図る。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	水洗トイレ改造資金利子助成事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度のみ	
	課	下水道課		水洗トイレ改造資金利子助成事業		款	新規or継続	継続事業		
	係	下水道計画係				項	市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	5223	名称	根拠法令、条例等		目	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例、佐野市水洗トイレ改造資金あつせん規則・規程		事業期間	開始年度	S52	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	直営	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						融資・貸与事業	
	基本事業	3	生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化の向上							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	水洗トイレに改造し、公共下水道に接続する方の経済的負担を軽減するため、改造資金の融資に対し利子を助成する。 条件：供用開始区域内の建築物の所有者またはその同意を得た占有者で対象工事を施工する方 対象工事：汲み取り式トイレから水洗トイレへの改造、し尿浄化槽を廃止し公共下水道に接続する工事 融資機関：郵便局・労働金庫を除く市内金融機関 限度額：最高50万円
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公共下水道に接続し、安心で快適な生活の場を作る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		公共下水道による水洗化率	%	95.8	96.1	96.4	96.7	97.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	融資あつせん申請件数 2件（一般世帯2件） 9月、3月に取扱金融機関への利子の支払い	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		融資あつせん申請件数	件	7	2	2		
		利子助成実行件数	件	2	2	2		
		事業費計	千円	52	45	43		
		一般財源	千円	26	23	22		
		特定財源（国・県・他）	千円	26	22	21		
		（うち受益者負担）	千円					

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	2件の利子補給を行うことにより、水洗トイレへの改造工事に伴う市民の経済的負担を軽減することができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		公共下水道による水洗化率	%	93.2	93.2	93.3	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		公共下水道による水洗化率	%	93.2	93.2	93.3	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果		
				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

金利が低く、利用者のメリットが少ないため、申請件数が少ないと考えられる。
--------------------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	
<input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討	
<input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討	
<input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討	
<input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	合併処理浄化槽設置整備事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	環境政策課		合併処理浄化槽設置整備事業		款	4	新規or継続	継続事業	
	係	環境係				項	1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	5223	名称	根拠法令、条例等		目	6	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	浄化槽法、佐野市浄化槽設置費補助金交付要綱		事業期間	開始年度	H1	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	直営	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						支援事業	
	基本事業	3	生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化の向上							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	生活排水処理構想・基本計画に基づき、下水道事業計画区域、農業集落排水処理施設対象区域以外で単独処理浄化槽及び汲み取りからの転換により、合併処理浄化槽を設置した方に対し、補助金を交付し、生活排水の適正処理を推進する。 また、設置された浄化槽の法定点検等の実施による適正な管理を推進する。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	生活排水を適正に処理できる住宅を増やす。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		合併処理浄化槽処理人口普及率	%	11.0	11.3	11.5	11.8	12.1
		合併処理浄化槽設置費補助金交付件数	件	40	60	80	80	80
		11条検査受検率	%	74.0	80.6	82.0	84.0	86.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	下水道事業計画区域、農業集落排水処理施設対象区域以外で単独処理浄化槽及び汲み取りからの転換により、合併処理浄化槽を設置した方に対し、補助金を交付した。 11条検査未受検者へ指導を実施した。 浄化槽に係る苦情に対し対応を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		合併処理浄化槽設置補助件数	件	56	62	47		
		11条検査未受検者へ指導件数	件	780	739	679		
		浄化槽に係る苦情件数	件	2	1	1		
		事業費計	千円	42,781	48,314	36,128		
		一般財源	千円	307	0	0		
		特定財源（国・県・他）	千円	42,474	48,314	36,128		
		（うち受益者負担）	千円					

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	水洗化が促進し、適正に生活排水が処理される。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい	
		合併処理浄化槽処理人口普及率	%	11.3	11.6	11.7	値が大きいほど良い	効果が上がった
		合併処理浄化槽設置費補助金交付件数	件	56	62	47	値が大きいほど良い	効果が下がった
		11条検査受検率	%	80.6	83.5	83.0	値が大きいほど良い	効果が下がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断			効果
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標			効果が上がった
	効果は変わらない指標数	0指標			効果は変わらない
	効果が下がった指標数	2指標			効果が下がった
	指標全体	効果が下がった			○

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

R6の合併処理浄化槽設置補助件数は、目標件数に達しなかった。
--------------------------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
合併処理浄化槽設置を推進するため、設備業協同組合などへの周知も含め、引き続き広報を行う。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県浄化槽推進協議会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し		
	課	環境政策課		栃木県浄化槽推進協議会参画事業		款	4	新規or継続	継続事業		
	係	環境係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業		
政策体系	体系コード	5223	名称			目	6	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり			事業期間	開始年度	H2	実施方法		
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり				終了年度	-	事業分類		
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						参画事業		
	基本事業	3	生活排水施設の整備、普及促進及び水洗化の向上								

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	県内の全市町で構成する「栃木県浄化槽推進協議会」に参画し、浄化槽設置整備事業の円滑な推進を図る。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	協議会が行う、市町実施の浄化槽設置整備事業が円滑に推進するための事業に参画し、国の浄化槽に係る制度の維持、改善を求める。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		合併処理浄化槽処理人口普及率	%	11.0	11.3	11.6	11.9	12.2
		合併処理浄化槽設置費補助金交付件数	件	40	60	80	80	80

### (3) 目標値

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	協議会が主催する会議に出席した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		会議への参加回数	回	1	2	2		
		事業費計	千円	33	17	33		
		一般財源	千円	33	17	33		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	水洗化が推進し、生活排水処理が整備される。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		合併処理浄化槽処理人口普及率	%	11.3	11.6	11.7	値が大きいほど良い	効果が上がった
		合併処理浄化槽設置費補助金交付件数	件	56	62	47	値が大きいほど良い	効果が下がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し		※ 10万円以上の増減により判断	効果		
	効果が上がった指標数	効果は変わらない指標数		費用は下がった	効果は変わらない	効果が下がった
効果（R6とR5の指標値増減）	1指標	0指標				
	1指標					
	指標全体	効果は変わらない				

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

現状維持のため、特になし。
---------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	下水道管渠維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	下水道管渠維持管理事業	会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し		
	課	下水道課		予算		款	新規or継続		継続事業		
	係	下水道維持係		科目		項	市単独or国県補助		市単独事業		
政策体系	体系コード	5224	名称	根拠法令、条例等		目	義務or任意		任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程		事業期間	開始年度	S51	実施方法	一部委託	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業		
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理								
	基本事業	4	生活排水施設の適正管理								

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	公共下水道の管渠、マンホール、マンホールポンプ場等が正常に機能するよう施設の維持管理を行う。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公共下水道汚水管渠等の機能を維持し、下水道使用者が快適に生活できるようにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	公共下水道汚水管渠等の修繕・改築を適切に行うことにより、不明水量を減少させ有収率の向上を図る。	管渠の閉塞事故発生件数	件	0	0	0	0	0
		公共下水道有収率	%	68.0	68.3	68.5	68.8	69.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・管渠の清掃延長：3,286m	活動指標	単位	R4	R5	R6
	・管渠のTVカメラ調査延長：4,275m	管渠清掃延長	m	5,116	4,031	3,286
	・マンホールや公共樹の修繕等件数：61件（118箇所）	管渠TVカメラ調査延長	m	5,366	3,153	4,275
	・管渠修繕工事等実施件数：26件	マンホール・公共樹修繕数	箇所	97	77	118
	・水処理センター等包括的維持管理業務委託：1件（水処理センター維持管理事業、中継ポンプ場維持管理事業にも計上）	事業費計	千円	254,147	178,078	267,233
	マンホールポンプ場の保守点検、小規模修繕等	一般財源	千円	164,547	144,478	182,533
		特定財源（国・県・他）	千円	89,600	33,600	84,700
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	適切な日常点検・パトロールにより、管渠が閉塞する前に発見・対応した結果、閉塞箇所数は若干減少した。 有収率は若干低下した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		管渠の閉塞事故発生件数	件	5	4	3	値が小さいほど良い	効果が上がった
		公共下水道有収率	%	61.1	61.8	58.1	値が大きいほど良い	効果が下がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		管渠の閉塞事故発生件数	件	5	4	3	値が小さいほど良い	効果が上がった
		公共下水道有収率	%	61.1	61.8	58.1	値が大きいほど良い	効果が下がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		効果が上がった						
		効果は変わらない						
		効果が下がった						
		費用は下がった						

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

引き続き事故防止のため、下水道施設の巡回・点検や清掃・調査に取り組み、発見された異常箇所の修繕等を適切に実施する。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
管渠等の異常を早期に発見し、適切な修繕・改築を行うことにより、管渠の閉塞や不明水を防止し、有収率の向上等を図る。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	下水管路ストックマネジメント事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し	
	課	下水道課		下水管路ストックマネジメント事業		款	新規or継続	継続事業		
	係	下水道維持係				項	市単独or国県補助	国県補助事業		
政策体系	体系コード	5224	名称	根拠法令、条例等		目	義務or任意	任意的事業		
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程		事業期間	開始年度	H27	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	一部委託	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						施設維持管理事業	
	基本事業	4	生活排水施設の適正管理							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	佐野市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、管路施設の計画的な点検・調査及び改築・修繕を実施する。
------	--

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	公共下水管路施設の改築・修繕を適切に行うことにより、管渠の閉塞や不明水を防止し、有収率の向上及び老朽化した管路施設の延命化を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		公共下水道有収率	%	68.0	68.3	68.5	68.8	69.0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・管渠改築工事：3件 ・管渠内面補強等工事：2件 ・マンホール蓋改築工事：15件 (令和5年度からの繰越5件、令和7年度への繰越5件を含む) ・管路施設点検調査：6件 ・管渠施設診断：1件	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		管渠改築工事延長	m	634	28	476		
		修繕工事箇所数	箇所	251	196	182		
		事業費計	千円	151,228	179,448	285,401		
		一般財源	千円	62,038	59,178	110,876		
		特定財源（国・県・他）	千円	89,190	120,270	174,525		
		(うち受益者負担)	千円	0	0	0		

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	ストックマネジメント計画に基づき、点検・調査及び修繕・改築工事等を実施し、管路施設の延命化を図った。 また、有収率は若干低下した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		公共下水道有収率	%	61.1	61.8	58.1	値が大きいほど良い	効果が下がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	費用	効果			↓選択して下さい
		効果が上がった指標数			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
		効果は変わらない指標数			費用は下がった			
		効果が下がった指標数			費用の増減無し			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、施設の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。
------------------------------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
佐野市公共下水道ストックマネジメント計画（第2期）に基づき、計画的な点検・調査を実施することによって管渠等の異常を早期に発見し、適切な修繕・改築を行うことにより、管渠の閉塞や不明水を防止し、有収率の向上及び管路施設の延命化を図る。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	中継ポンプ場ストックマネジメント事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し	
	課	下水道課		中継ポンプ場ストックマネジメント事業		款	新規or継続		継続事業	
	係	下水道維持係				項	市単独or国県補助		国県補助事業	
政策体系	体系コード	5224	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	義務or任意		任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程		開始年度	R2	実施方法	一部委託	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理							
	基本事業	4	生活排水施設の適正管理							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	佐野市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、中継ポンプ場施設の計画的な点検・調査及び改築・修繕を実施する。また、改築工事と並行して、土木・建築構造物の耐震対策を実施する。 対象施設：高萩中継ポンプ場、秋山川中継ポンプ場、伊勢山中継ポンプ場
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	設備の突然の故障や機能停止といったリスクを回避し、設備の長寿命化が図られることにより、中継ポンプ場の正常な機能を確保する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		ポンプ場の重大な故障件数	回	0	0	0	0	0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	令和7年度以降の事業内容の検討を行った。  ※設備群数とは、まとまった機能を発揮するために必要な設備の集合体（電気設備も含む）を指す。例：除塵設備、除砂設備	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		改築更新済設備群数（累計）	群数	0	1	0		
		耐震対策済施設数（累計）	施設	0	0	0		
		事業費計	千円	127,500	207,440	0		
		一般財源	千円	20,900	11,390	0		
		特定財源（国・県・他）	千円	106,600	196,050	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	重大な故障は発生せず、正常な機能を確保することができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい	
		ポンプ場の重大な故障件数	回	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
			○			

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。
------------------------------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
佐野市公共下水道ストックマネジメント計画（第2期）に基づき、計画的な改築工事や耐震対策工事を実施する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	中継ポンプ場維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	中継ポンプ場維持管理事業	会計 款 項 目	下水道	事業計画	単年度繰り返し
	課	下水道課					新規or継続	継続事業	
	係	下水道維持係					市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	5224	名称	根拠法令、条例等	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程	事業 期間	S55	実施方法	一部委託
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	開始年度		-	事業分類	施設維持管理事業	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	終了年度		-			
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						
	基本事業	4	生活排水施設の適正管理						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	中継ポンプ場施設（3箇所）が正常に機能するよう施設の維持管理を行う。 対象施設：高萩中継ポンプ場、秋山川中継ポンプ場、伊勢山中継ポンプ場
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	中継ポンプ場の正常な機能を確保する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		ポンプ場の重大な故障件数	回	0	0	0	0	0

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・中継ポンプ場運転操作 ・中継ポンプ場電気・機械設備等の保守点検 ・更新工事：1件 ・水処理センター等包括的維持管理業務委託：1件（水処理センター維持管理事業、下水道管渠維持管理事業にも計上）	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		日常点検（高萩）	回	52	52	52		
		日常点検（秋山川）	回	365	366	365		
		日常点検（伊勢山）	回	52	52	52		
		事業費計	千円	64,749	111,691	53,512		
		一般財源	千円	64,749	111,691	53,512		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

### (2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	設備の保守点検等の実施により、重大な故障に至る前に異常を発見し、修繕等を実施したため、正常な機能を確保することができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		ポンプ場の重大な故障件数	回	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

### (3) 活動による効果

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		ポンプ場の重大な故障件数	回	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が上がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		効果が上がった指標数	0指標				効果が上がった	
		効果は変わらない指標数	1指標				効果は変わらない	
		効果が下がった指標数	0指標				効果が下がった	
		指標全体	効果は変わらない				費用の増減無し	

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。
------------------------------------

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	
設備の保守点検等を実施することにより、早期に異常を発見し、適切に修繕・改築を実施するなど、中継ポンプ場施設の機能確保に努める。	

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	公共下水道統合事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	期間限定複数年度	
	課	下水道課		公共下水道統合事業		款	新規or継続		継続事業	
	係	下水道維持係				項	市単独or国県補助		市単独事業	
政策体系	体系コード	5224	名称	根拠法令、条例等		目	義務or任意		任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程、佐野市農業集落排水処理施設条例		事業期間	開始年度	H27	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			期間	終了年度	R6	事業分類	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						施設維持管理事業	
	基本事業	4	生活排水施設の適正管理							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	本市の農業集落排水事業は、設備の老朽化が進み、更新工事等の多額の維持管理費用が必要になると見込まれる。そのため、並木・飯田・佐野西部・常盤の全4地区について、公共下水道への切り替えを実施し、処理場を廃止することにより、将来の維持管理経費の削減を図る。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	統合する農業集落排水事業区域を、公共下水道事業の供用開始区域とする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		統合する区域の供用開始区域面積（累計）	ha	169	169	169	207	-

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	旧常盤地区水処理センター改修工事を実施した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		接続工事の管渠延長	m	1,383.5	1,527.7	-		
		改修工事実施設計	件	0	1	-		
		改修工事	件	0	0	1		
		事業費計	千円	0	1,023	18,277		
		一般財源	千円	0	1,023	18,277		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	常盤地区の接続工事がR5年度末に完了し、R6年度より全ての農業集落排水が統合され、公共下水道として供用開始した。 並木地区：供用開始H28～（区域面積25.8ha） 飯田地区：供用開始H29～（区域面積36.4ha） 佐野西部地区：供用開始R2～（区域面積106.6ha） 常盤地区：供用開始R6～（区域面積38.0ha）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		統合する区域の供用開始区域面積（累計）	ha	169	169	207	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	常盤地区の接続工事がR5年度末に完了し、R6年度より全ての農業集落排水が統合され、公共下水道として供用開始した。 並木地区：供用開始H28～（区域面積25.8ha） 飯田地区：供用開始H29～（区域面積36.4ha） 佐野西部地区：供用開始R2～（区域面積106.6ha） 常盤地区：供用開始R6～（区域面積38.0ha）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		統合する区域の供用開始区域面積（累計）	ha	169	169	207	値が大きいほど良い	効果が上がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	1指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
	効果が変わった指標数	0指標						
	効果が下がった指標数	0指標						
	指標全体	効果が上がった						

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

旧常盤地区水処理センターの後利用について、下水道用防災資機材倉庫として適正な維持管理及び利活用を継続していくことで事業のさらなる効果が発揮される。
---

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
下水道用防災資機材倉庫として後利用する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	水処理センターストックマネジメント事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し
	課	下水道課		水処理センターストックマネジメント事業		款	新規or継続	継続事業	
	係	下水道維持係				項	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	5224	名称	根拠法令、条例等	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程	目	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	事業期間		開始年度	H31	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり	期間		終了年度	-	事業分類	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理					施設維持管理事業	
	基本事業	4	生活排水施設の適正管理						

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	佐野市公共下水道ストックマネジメント計画に基づき、佐野市水処理センター施設の計画的な点検・調査及び改築・修繕を実施する。また、改築工事と並行して、土木・建築構造物の耐震対策を実施する。 対象施設：佐野市水処理センター（南部幹線場内ポンプ場及び場内マンホールポンプ場を含む）
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	設備の突然の故障や機能停止といったリスクを回避し、設備の長寿命化が図られることにより、佐野市水処理センターの正常な機能を確保する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		終末処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	100	100

### （3）目標値

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	設備の突然の故障や機能停止といったリスクを回避し、設備の長寿命化が図られることにより、佐野市水処理センターの正常な機能を確保する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		終末処理場の放流水質基準値適合率	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	・佐野市水処理センター改築工事：1件（令和7年度への継続工事） 沈砂池ポンプ棟：汚水ポンプ設備、受変電設備等 ・佐野市水処理センター耐震診断：3件 雨水沈殿池（令和5年度からの繰越）、汚泥処理棟（令和7年度への繰越）、送風機棟 ・佐野市水処理センター増設工事実施設計：1件 5-2系水処理設備：最初・最終沈殿池設備、反応タンク設備等 ・耐水化工事詳細設計：1件 ・耐水化工事：2件 ※設備群数とは、まとまった機能を発揮するために必要な設備の集合体（電気設備も含む）を指す。例：除塵設備、汚泥脱水設備	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		改築更新済設備群数（累計）	群数	3	3	3		
		耐震対策施設群数（累計）	群数	11	12	12		
		事業費計	千円	117,740	301,054	160,496		
		一般財源	千円	26,550	45,754	66,571		
		特定財源（国・県・他）	千円	91,190	255,300	93,925		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	設備の保守点検等の実施により、重大な故障に至る前に異常を発見し、修繕等を実施したため、正常な機能を確保し放流水質基準にすべて適合することができた。 沈砂池ポンプ棟汚水ポンプ設備等の改築工事に着手した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		終末処理場の放流水質基準適合率	%	100	100	100	値が小さいほど良い	効果は変わらない

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			効果			
効果（R6とR5の指標値増減）	効果が上がった指標数	0指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数	1指標						
	効果が下がった指標数	0指標						
	指標全体	効果は変わらない						

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。
------------------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
佐野市公共下水道ストックマネジメント計画（第2期）や耐水化計画に基づき、計画的な改築工事や耐水化工事を実施し、耐震対策工事の実施に向けて検討する。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	水処理センター維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	上下水道局		予算中事業名	予算科目	会計	下水道	事業計画	単年度繰り返し	
	課	下水道課		水処理センター維持管理事業		款	新規or継続		継続事業	
	係	下水道維持係				項	市単独or国県補助		市単独事業	
政策体系	体系コード	5224	名称	根拠法令、条例等		目	義務or任意		任意的事業	
	基本目標	5	快適により安全で安心して暮らせるまちづくり	下水道法、佐野市下水道条例・施行規程		事業期間	開始年度	H27	実施方法	
	政策	2	住みやすい快適なまちづくり			終了年度	-	事業分類	一部委託	
	施策	2	安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理						施設維持管理事業	
	基本事業	4	生活排水施設の適正管理							

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	公共下水道終末処理場である佐野市水処理センターが正常に機能するよう施設の維持管理を行う。 対象施設：佐野市水処理センター（南部幹線場内ポンプ場及び場内マンホールポンプ場を含む）
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市水処理センターの正常な機能を確保する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		終末処理場の放流水質基準適合率	%	100	100	100	100	100

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	・水処理センター等包括的維持管理業務委託：1件（下水道管渠維持管理事業、中継ポンプ場維持管理事業にも計上） 施設の運転操作、電気・機械設備等の保守点検、小規模修繕等 ・放流水等の水質管理 ・下水汚泥等の廃棄物処理 ・更新工事：8件 (令和5年度からの繰越2件、令和7年度への繰越2件を含む) ・修繕工事：2件 ・空調設備設置工事実施設計：1件	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		年間処理水量	万m³	1,664	1,659	1,743		
		年間汚泥発生量	t	4,792	4,886	4,753		
		事業費計	千円	611,827	571,625	866,071		
		一般財源	千円	611,827	571,625	866,071		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

### （2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び定性)	設備の保守点検等の実施により、重大な故障に至る前に異常を発見し、修繕等を実施したため、正常な機能を確保し放流水質基準にすべて適合することができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		終末処理場の放流水質基準適合率	%	100	100	100	値が小さいほど良い	効果は変わらない

### （3）活動による効果

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	効果指標	単位	R4	R5	R6		
		終末処理場の放流水質基準適合率	%	100	100	100	値が小さいほど良い	効果は変わらない

### （5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の指標値増減)	効果が増加した指標数 効果は変わらない指標数 効果が下がった指標数 指標全体	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
						費用が下がった		
						費用の増減無し		
						費用が増加した	○	

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

物価や人件費等の上昇、設備の老朽化等により、事業費が上昇傾向である。
------------------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
水処理センターの適切な運転管理や設備の保守点検等を実施することにより、早期に異常を発見し、適切に修繕・改築を実施するなど、水処理センター施設の機能確保及び放流水質の適正管理に努める。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）